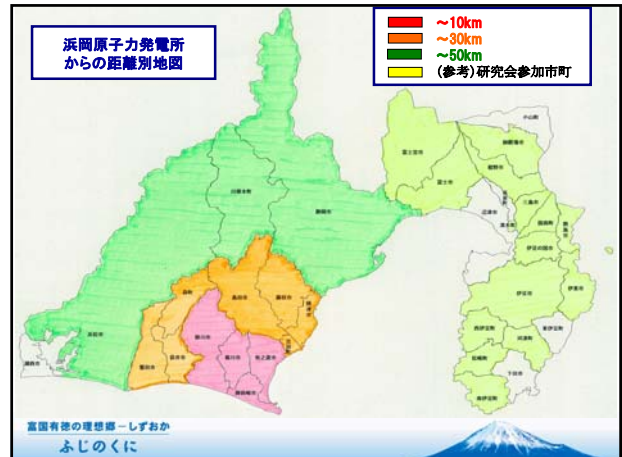


海外の300万人の 避難事例の紹介

静岡県危機管理部原子力安全対策課
主査 小澤謙一



浜岡原子力発電所からの距離別市町別人口

市町名	5km圏内	10km圏内	20km圏内	30km圏内	総人口	備考
御前崎市	24,087	35,732	35,732	35,732	35,732	
牧之原市	5,121	19,810	50,513	50,513	50,513	
掛川市	0	12,952	51,057	119,374	119,612	
菊川市	0	11,415	48,635	48,635	48,635	
吉田町	0	0	29,241	30,503	30,503	
袋井市	0	0	6,257	84,404	86,853	
島田市	0	0	2,883	95,771	102,870	
磐田市	0	0	0	110,056	173,715	
焼津市	0	0	0	106,454	146,623	
藤枝市	0	0	0	95,612	144,929	
森町	0	0	0	6,187	20,041	
合計	29,208	79,909	224,316	783,241	960,026	

原子力防災指針(中間とりまとめ) P44(抜粋)

○避難計画の策定

地域防災計画等については、住民避難等の実効性を含めて検証し、十分な調査、検討を行った上で策定することが必要である。

避難対象者が多い上に、実効性を持った避難計画は立案可能か？



300万人の避難を2回も成功させた国がある。

キューバの事例

300万人が安全圏に避難

ハリケーン(日本の台風より猛烈)
気象観測・予測により、住民避難!

原子力事故による避難と類似部分!!

あらゆる輸送手段を使う！

- 人命救済を最優先する国家
- 国民を安心させる正確な情報周知
- 避難行動に結びついてこそ意味を持つ危険情報
- 事前の準備で避ける電源喪失
- 戦車、トラック、バスを総動員し、危険地帯から全員避難

高岡有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに

困ったときの助け合い！！

- リスクの高い場所から避難
- 住民の約80%は、政府の避難所ではなく家族や友人のもとに避難
- こども、女性、高齢者、病人を最優先
- ペットも一緒に避難所に避難、家畜避難
- GISを生かしたハザードマップづくり
- 市民防衛は、各地域・各組織の代表が管理し、災害対策の全責任を負っている。

高岡有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに

国・県・市町村・民間との連携

- 制度のカバー範囲：全国土、全組織、全機関
- 国防省と内務省は、ローカル政府の指揮下に入り、積極的に避難活動に参加
- 社会経済の発展段階に応じた組織作り。絶えず改革を実施
- トップダウンとボトムアップのシナジー

高岡有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに

家族、そして自主防災組織

- 誰もが失った財産と住宅を保障される
- 格差社会をなくすことが被害を減らす
- 長期戦略：貧困の撲滅、社会的・経済的な平等を促進
- 見習うべき点：地元の指導力、コミュニティの参画、計画への人民参加、ライフライン構造のコミュニティでの実現、ソーシャルキャピタル

高岡有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに

キューバというと???

一般的なイメージ!?

- 社会主義国
- カストロによる一党独裁
- アメリカによる経済封鎖
- 貧しい国

高岡有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに

- 「世界がキューバ医療を手本にするわけ」
 - 「200万都市が有機野菜で自給できるわけ」
 - 「防災大国キューバに世界が注目するわけ」
- 吉田太郎著などを読んでみると..

高岡有徳の理想郷—しずおか
ふじのくに

アメリカによる経済封鎖
物質的に貧しい！

心は、豊か(絆が強い)！！

医療費:無料(予防医学・高度医療)

教育費:無料(医者も無料、試験)

バイオテクノロジー先進国

有機農業:野菜の自給、自然回復

集中型→分散型発電への方針転換

高岡有徳の理想郷-しずおか
ふじのくに

「防災大国」
キューバに世界が
注目するわけ

著者 中村八郎、吉田太郎

高岡有徳の理想郷-しずおか
ふじのくに

東日本大震災の教訓

価値観のシフト

物の時代からこころの時代へ
競争から共生へ

高岡有徳の理想郷-しずおか
ふじのくに

日本が東日本大震災を乗り越えていくために、**見習うべき国がいくつかあるはず。**

そのひとつが、「**キューバ**」
といえる。

高岡有徳の理想郷-しずおか
ふじのくに

ご静聴、ありがとう
ございました！

静岡県危機管理部原子力安全対策課
主査 小澤謙一

高岡有徳の理想郷-しずおか
ふじのくに